

# Unified Communication ( UC ) を、非 UC およびサード・パーティ仮想マシン ( VM ) 共同在住解決して下さい

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[共同在住および「QoS」](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料は [Cisco コラボレーション仮想化](#) で定義される仮想化された Cisco Unified Communications ( UC ) / Collaboration アプリケーションのためのサポート ポリシーの一部として [アプリケーション共同在住サポート ポリシー](#) で定義されるアプリケーション共同在住のためのサポート ポリシーのいくつかの側面を明白にしたものです。このテクニカルノートは Specs ベースの UCS テストされる参照用 コンフィギュレーションが、Specs ベースの UCS によっておよび第 3 パーティ サーバ含まれている他の仮想化 ハードウェア オプションおよび Unified Computing System ( UCS ) のすべての UC に適当です。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- UCS ソリューションの UC
- UCS によってテストされる参照用 コンフィギュレーション ハードウェア
- Specs ベースのハードウェア ( UCS、HP または IBM )
- Cisco Collaboration アプリケーションの仮想化
- VMware vSphere ソフトウェア
- Cisco Unified Computing System ハードウェア

注: Web ページ リンクについてはこの資料の「関連情報」セクションを参照して下さい。

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- 仮想化を ( サポートする Cisco コラボレーション アプリケーションは [Cisco コラボレーション仮想化](#) で一目で見ます ) 。

- Cisco UC/Collaboration アプリケーションの仮想化のためのサポート ポリシー ( [Cisco コラボレーション仮想化](#) でサポート ドキュメントを参照して下さい )。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 共同在住および「QoS」

ネットワークコンバージェンスおよび仮想化両方のキー プリンシパルはハードウェアリソースの共有です。

- コンバージした IP ネットワークは多重トラフィック ストリーム ( 音声、ビデオ、ストレージ アクセスおよび他のデータ ) 間のネットワークハードウェアを共有します。
- 複数のアプリケーション仮想マシン ( VM ) 間の仮想化されたサーバ ( か仮想化ホスト ) 共有 計算、ストレージおよびネットワークハードウェア。

いずれの場合もハードウェアリソースが有限なとき、QoS が非 UC アプリケーションから UC を、そのように保護するために必要となります:

- ルーティング/スイッチング ネットワークハードウェアの Quality of Service ( QoS ) は音声 /ビデオネットワークトラフィックを確認するために遅延 および ジッターからの必要な帯域幅および保護を得ます。
- UC 仮想化ルールへの付着は ( たとえば、物理的な/バーチャル ハードウェア サイズ変更、共同在住ポリシー、等 ) UC VM を確認するために必要な CPU、メモリ、収蔵可能量およびストレージ/ネットワークパフォーマンスを得ます。

Cisco が動作が予測不可能または明確に定義されなくてもかもしれないサード・パーティ アプリケーション VM の VM 共同在住のためにハードウェアの各組み合わせおよびアプリケーションを、特にテストすることは不可能です。従って、Cisco UC アプリケーションのリアルタイム パフォーマンスは共同在住ポリシーのすべての条件が続かれるときだけ UCS でインストールされたときだけ [テストしました参照用 コンフィギュレーション](#) を次に託され、( [コラボレーション仮想化サイズ変更](#) を参照すれば、UCM および IMP のような CPU 予約をサポートするアプリケーションのため、そこに [その他の考慮事項](#) であるかもしれません )。

他の環境の場合、不確実性は配置前、仮想化の一般原則の後でテスト、ベースライニングによって、および Cisco UC 仮想化のルールに従って減らすことができます ( [Cisco コラボレーション仮想化](#) で )。ただし、Cisco は VM は決してリソースのために空腹でし、決してパフォーマンス問題がないことを保証できません。

### 非 UC およびサード・パーティ仮想マシンに関するキー サポート問題

非 UC/3rd パーティ アプリケーション VM と共存する Cisco UC VM を経営するとき効果的にサポートを提供することを Cisco TAC が可能にするために、顧客はこれらのどちらかを確認する必要があります:

- 非 UC/3rd パーティ VM は解決することを促進するように無批判で、必要であれば動力を与えられます一時的に。
- VM が無批判ではない場合、予備キャパシティは VM の再配置のための仮想化ホストか物理サーバーでアプリケーションパフォーマンス問題へのソリューションとして ( 一時か常置 ) 提供する必要があります。予備キャパシティはメンテナンスがハードウェアかソフトウェア

アで必要となる時既に冗長性のための推奨される設計最良の方法または VM の一時ステージングを提供するためにです。「予備キャパシティ」の例は余分「空にします」物理サーバー（「ホット・スタンバイ」か一時ステージングを提供するため）、またはフルに利用されない既存のブレード/RAC マウント サーバをです。

非 UC/3rd パーティ アプリケーション VM と共存する Cisco UC VM を経営するとき効果的にサポートを提供することを Cisco TAC が可能にするために、Cisco は問題診断が解決のために顧客からのこれらのアクティビティを必要とするかもしれません:

- ソフトウェア負荷または物理的なハードウェア、解決するためまたは解決アプリケーションパフォーマンス問題への変更。これらの変更が必要となるかもしれませんときに例はのハードウェアから非力なCPU を、メモリ、ネットワーク、ディスク容量またはストレージ受け取る ( IOP ) 入力される/出力オペレーション毎秒 UC VM です。
- 実際の配備のようにこれらの変更見えがここにリストされているものをの例。ソフトウェア：無批判 VM の一時電源遮断パフォーマンストラブルシューティングを促進するためソフトウェア：一時か永続性のあるソリューションとして仮想化ホスト/物理サーバーを交互にするために重要な VM や無批判 VM を移動して下さい。一時的に Cisco がトラブルシューティングを行うのに必要に考える場合ホストで動作する仮想マシンの数を減らして下さい。永久に Cisco がホストを過剰になったら判別する場合ホストで動作する仮想マシンの数を減らして下さい。ホストを交互にするためにそれからそれらのより少なく密な VM を移動する複数のより少なく密な VM への密な UC アプリケーション VM の、分割。たとえば、CUCM 10K ユーザ OVA を複数の CUCM 7.5K ユーザ OVA に分割して、一部の CUCM 7.5K ユーザ OVA を再配置します。これらのアプローチは負荷がハードウェアリソースにもはや不足していないように、過剰にされた仮想化ホスト/物理サーバーのソフトウェア負荷のリダクションを可能にします。
- ハードウェア：VM の電源を切るか、または VM を移動することに代替として「過剰にされたホストを固定する付加/アップグレード」。たとえば、収蔵可能量を増加するおよび/または IOP を提供するより多くの物理的なディスクの付加。たとえば、より多くの物理メモリまたはより物理的な CPU コアの付加。たとえば、LAN 輻輳をアドレス指定する物理的な NIC インターフェイスの付加。これらのアプローチでは、過負荷ハードウェアの「アップグレード」によりリソース不足のソフトウェア ワークロードに対応できます。

サポートの Cisco プロビジョニングするは Cisco が付いている現在および十分に支払済サポート契約を維持している顧客に依存しています。

## 関連情報

- [シスコユニファイド コンピューティング システムのシスコユニファイド コミュニケーション](#)
- [仮想化環境でのユニファイド コミュニケーション](#)
- [VMware](#)
- [DC パートナー : VMware](#)
- [ユニファイド コミュニケーションの VMware に関する要件](#)
- [Unified Computing](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)